



医療 ISAC Security Lecture 2023

#001

祐愛会織田病院におけるランサムウェア対策の取り組みについて
～命を守る最後の砦 バックアップソリューション～

講師：森川 伸一

日時：2023年1月31日（火）15:00～16:00 Google Meet によるライブ配信

講師略歴

社会医療法人 祐愛会織田病院
情報管理室 システムマネージャー

1990年（平成2年）佐賀大学工学部情報科学科 入学

1994年（平成6年）システム開発会社 勤務

業務用アプリケーション開発に携わる（PG・SE・PM）

2013年（平成25年）祐愛会織田病院 入職

電子カルテや部門システムなど病院システム運用管理を担当。

パソコントラブルからベンダーマネジメント、オリジナルシステム開発などシステム全般に携わっている。



講演要旨

当院では1999年のISDN回線を使った遠隔診療システムをはじめとして、急速に高齢化が進む社会背景からデジタル化技術を積極的に活用しながら「治す医療」から「治し支える医療」への転換を進めてきました。

その一方で、年々マルウェア（コンピュータウイルス）やサイバー攻撃の対応も重要となり、標準的なセキュリティ対策は導入したものの、ランサムウェア対策としては十分とは言えず、セキュリティ関連の情報収集や検討は継続しつつ、九州では近年地震や水害被害が発生しているため、BCP対策として遠隔地バックアップも同時に検討していましたがコスト面で苦慮しておりました。





しかし、2021年10月の半田病院におけるサイバー攻撃事件の発生をうけ、セキュリティの見直しを加速、このほどランサムウェア対策のセキュリティとバックアップシステムを構築し、運用を開始することができました。

コストをかければより強固なセキュリティを構築できたものと思いますが、100床クラスの当院ではセキュリティコストには限界があります。

本講演では、そういった制約のあるなかで構築したランサムウェア対策や最後の砦となるバックアップソリューションの導入事例を共有させていただきますのでご参考になれば幸いに存じます。

